

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第5部門第2区分
【発行日】令和3年8月12日(2021.8.12)

【公開番号】特開2020-60196(P2020-60196A)
【公開日】令和2年4月16日(2020.4.16)
【年通号数】公開・登録公報2020-015
【出願番号】特願2018-189505(P2018-189505)
【国際特許分類】

F 1 6 H 1/32 (2006.01)

F 1 6 H 35/10 (2006.01)

F 1 6 D 7/04 (2006.01)

【F I】

F 1 6 H 1/32 B

F 1 6 H 35/10 G

F 1 6 D 7/04 A

【手続補正書】
【提出日】令和3年7月5日(2021.7.5)
【手続補正1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項2
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項2】

前記第1部材及び第2部材が、前記入力軸と前記出力軸の対向端部に配置された、軸方向に対し直交する動径方向等高曲面を備えたクラウンギヤからなり、一方のクラウンギヤは軸方向に固定され、他方のクラウンギヤは、軸方向に圧縮変形可能な弾圧部材を介して取り付けられており、前記入力軸と前記出力軸の間に伝達される回転トルクに応じて、他方のクラウンギヤが一方のクラウンギヤに対し、線接触あるいは面接触を維持しながら前記動径方向等高曲面に沿って軸方向に離隔して回転方向の位相をずらすようにしたことを特徴とする請求項1に記載された動力伝達機構。